

# ARTA



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI



## 「最速なれど、最強にあらず。」

2018 ARTA DIGITAL Rd.8 TWINRING MOTEGI  
NEED TO BE THE STRONGEST



悲願の王座奪還へ、ツインリンクもてぎに挑む ARTA には緊張感が漂っていた。  
GT300 クラスを戦う 55 号車 ARTA BMW M6 GT3 は 12 ポイントの差をつけて選手権をリードし、  
チャンピオンは目前と言える状況。GT500 クラスを戦う 8 号車 ARTA NSX-GT も 17 点差で、  
ポルトゥウインを果たせば 21 点が稼げるため王座の可能性を残している。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



北原

XL

**BRIDGESTONE**

 **AUTOBACS**

**echanix.com**



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



全車がウェイトハンディを降ろしイコールコンディションで戦う最終戦で、8号車は完璧なマシンセットアップを煮詰めることに成功し、伊沢拓也と野尻智紀のアタックで見事にポールポジションを奪い取ってみせた。

しかし一方の55号車はマシンセットアップが上手く進まず苦戦。予選では高木真一が渾身の走りでQ1を突破してみせたが、強豪揃いのQ2ではショーン・ウォーキンショーの走りは10番手に付けるのが精一杯だった。タイトルを争うライバルたちが上位グリッドを獲得したため窮地に追い込まれたが、それでもタイトルの望みが絶たれたわけではなかった。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

GT500 クラスのポールポジションからスタートした 8 号車は、後続を引き離しながら好調にレースを進めていった。ステアリングを握る伊沢は、同点でタイトルを争うホンダ勢の 100 号車とトヨタ勢の 1 号車の位置を気にしつつも、自分たちにできることは目の前のレースで勝つことと言いつつも、自分たちのペースをフルに引き出して走り続けた。レースエンジニアの星学文もその思いを共有し、ベストレースを戦うことだけを考えて伊沢にメッセージを送る。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



星「もう 17 号車が 1 号車に抜かれてます。1 が上がってきてる」

伊沢「了解、了解～」

星「17 はトラブルでピットに入っちゃった。もう気にする必要はないよ」

伊沢「了解」

星「次の周から 300 が出て来ます。良いペースだよ」

伊沢「100 の後ろって何号車？」

星「まだ 64。その後ろが 38 です」

伊沢は 8 号車の持つ本来のポテンシャルを最大限に発揮し、良いペースで後続を引き離していく。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

レース距離の3分の1を過ぎたところで、チームはレース状況を見て冷静な判断を下した。元々はレース中盤まで引っ張る予定だったが、周回遅れが出る前にピットインを済ませた方が前がクリアな状況でプッシュすることができる。

そう考え伊沢とも相談した結果、第2スティントを長くしてもタイヤに問題はないだろうと判断したのだ。

星「あと3周でウインドウオープン。ここで入るとちょうどクリアなところで戻れるんだけど、タイヤの状態はどう？」

伊沢「タイヤは別に問題ないよ」

星「了解。次もミディアムで4輪交換で行こうと思う」

伊沢「了解。やっぱり4輪交換が一番良いんじゃないかな」

19周目、やや早めにピットインを行ない、野尻にドライバーチェンジ。

残り34周を最後まで走り切る戦略に切り替えた。終盤はタイヤが厳しくなることが予想されるだけに、前がクリアなうちにプッシュしておくことが重要になる。

星「ここからクリアだから最初頑張ろう」



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA



Panasonic HONDA

**AUTOBACS**

ARTA

AUTOBACS RACING TEAM AGURI

AUTOBACS

8

ZF zf.com

Coca-Cola

BRIDGESTONE

BRIDGESTONE  
AUTOBACS



AUTOBACS RACING TEAM AGURI

**ARTA**

緊張感に包まれた野尻はいつも以上に口数も少なく、目の前のドライビングに集中していた。  
星「良いペースだよ、どんどんギャップを広げてる。あと3台300を抜いたらクリアだよ」  
星「あと5周くらいで100がピットインするから、その5周が勝負だからね。フルプッシュで頑張ろう」  
30周目には100号車もピットストップを行ない、8号車は再びトップへと浮上した。  
星「ピットインして100が前に戻るけど、アウトラップで冷えている状態だから抜いてよ。  
今ピット出口だから大丈夫だ、このまま行くよ」



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

チャンピオンを争う 100 号車は 3 位に後退するが、同点の 1 号車はさらにその後方。野尻はその集団にギャップを保ったまま首位を快走していた。

星「後ろは 38 に代わった。その後ろが 100。

38 まで 7.5 秒。あと 22 周、頑張るよ」

野尻「後ろは何秒で走ってるの？」

星「ギャップは 7.5 秒のまま変わらない。

同じタイムだよ。100 と 38 でやり合ってるからペースが落ちるかも知れない」



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA  
Pirelli

10 6  
11 24  
12 39  
13 16  
14 12  
15 36

SEIKO

Panasonic Panasonic Panasonic



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**

一方、GT300クラスの55号車は高木がステアリングを握って10番グリッドからレースに臨んだ。こちらも渋滞の中で思うに任せないドライビングとレース展開を強いられながらも、高木は後半のチャンスに備えて虎視眈々と待っていた。

前のクルマがピットインして前が開けたところでプッシュする作戦だ。

早々にピットインしたタイトル争いのライバル65号車はタイヤ無交換作戦を採ってきた。

レースエンジニアの安藤博之からそれを聞いた高木からは、タイヤは換えた方が良さそうだという反応が返ってきた。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**

安藤「65号車はタイヤ無交換」

高木「左側2本は換えたいけど、順位的にどう？」

安藤「0号車とか上位がピットインしてるんでプッシュしてください」

高木「右は使わないようにはしてるけど、左は交換した方が良さそうな気がする。88がバーストしてたもん」

安藤「良いペースです。トップの65号車が同一周回のクルマに引っかかっているからそのままプッシュして」

土屋「真一、ペース良いよ！周りは51秒台」

高木「はいよ～」



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

# ARTA

The 'big race' for Suzuki Aguri started in 2011. He has a vision for the future. Over the years, through the toughness and will of ARTA, Aguri is racing to inspire the future of motorsport.



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

# ARTA



土屋圭市エグゼクティブアドバイザーからの激を受けながら高木はペースを上げていくが、トラフィックに引っかかってしまう。抜き所が多くないツインリンクもてぎだけにタイムロスを喫する場面もあり、中にはなかなか後続車両への配慮ができないドライバーがいることもまた事実だった。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

高木「緑邪魔だなあ。引っかかっている」

安藤「了解。50号車、今言いに行ってます」

高木「何なんだよ、コイツ〜！緑が邪魔だよ！全然ペースが上げられないよ！何なんだよ、ほんとに！」

安藤「高木さん、49秒台でプッシュしてください。今後ろから速いクルマが来ていて（相手はすでにピットストップを終えていて）裏で勝負しています」

高木「前に追い付いちゃうよ！」

安藤「すぐに譲るよう言いに行っているので、プッシュお願いします。あと3周です」

高木「追い付いちゃったよ。3台もいるよ」

安藤「すぐにどくように言いに行ってます、3台とも」

ピットストップのタイミングが近付き、安藤はタイヤ無交換作戦で行くと高木に伝えた。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

安藤「高木さん、無交換で行きたいです」

高木「了解」

安藤「あと2周」

高木「タイヤ換えた方が良くと思うけどなあ……。結構ツライよ？」

安藤「タイヤ換えたらもうチャンピオンの権利なくなっちゃいます」

高木「また前がやりあってるよ」

安藤「高木さん、この周ピットイン」

高木「了解」



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

高木のフィーリングでは負荷の掛かる左側前後タイヤは交換しなければレース終盤が厳しくなるだろうという見立てだった。しかし2輪でもタイヤを交換すれば、タイトルを争うライバルたちの遙か後方でコースに戻るようになってしまう。タイトル争いは絶望的になってしまう。安藤はそう判断するしかなかったのだ。33周目、ピットインして高木からションヘドライバー交代。タイヤ無交換作戦のおかげで7番手でコースに復帰し、ピットアウト直後から温まったタイヤでプッシュバトルをすることができる。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



SW  
SEAN WALKER



TA  
BRIDGESTONE



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

安藤「ピットアウトしたら 61 が真後ろに来るから、それは抜かせるな。アウト  
ラップからプッシュしろ」

土屋「左は大事に行かせて！」

安藤「残り 16 周、前のクルマのラップタイムは 1 分 50 秒 5 だ」

しかし高木が危惧したとおり、55 号車のタイヤは徐々にパフォーマンスが低下  
していき、レース終盤は防戦一方の苦しい戦いを強いられることになった。

ショーンとしてもチームとしてももはや為す術はなく、ポジションを落として  
いくのを見守るしかなかった。



安藤「ポジション 9」

土屋「みんな、お疲れ様……」

終わってみれば 9 位、2 点。

65 号車が優勝し 20 点を加算したことで、55 号車は 6 点逆転されてしまった。  
目の前にあったタイトルに手を伸ばし指を掛けたものの、その栄冠は指の間からすり抜けていってしまった。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA



レースを終えた ARTA の面々は、突き付けられたその厳しい現実にはガックリと肩を落とし、言葉もなかった。

「昨日の予選が全てだったね。抜くのが難しいこのサーキットではやはり予選が重要。チャンピオンを獲得出来なかったのは非常に残念だったけど、チームもドライバーも良く戦ってくれたと思う」

土屋は ARTA のメンバー全員を気遣ってそう語ったが、悔しくないわけがない。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



GruppoM  
Fire

Pioneer  
COMTEC

MSC  
Management's Conference

Honda  
Frontstar

RIWATSU

carrozzeria

AUTOBACS

Hols

Castrol

EDGE

PRO STAFF

Arai

Nissin

ARTA

ART



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



そして GT500 クラスを戦う 8 号車も、レース終盤に差し掛かる頃には後続とのギャップがじわじわと詰まり、野尻は苦しい戦いに追い込まれていた。

星「残り 10 周、エンジンセーブしなくても良いからね、行くよ！」

星「残り 3 周だからね、頑張っって抑えよう。300 はいないから自分のラインで走れるよ」



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



星が励まし、野尻はなんとか後続を抑えきってトップのままチェックeredフラッグを受けた。

星「おめでとう！」

野尻「みんなありがとう～！ありがとうございます！」

星「いや～、よく抑えた。ほんとありがとう」



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

自分たちが目標としていたポルトゥウインは果たせた。しかしパルクフェルメに戻りマシンを降りれば、カメラのフラッシュを浴びた主役は100号車の山本尚貴とジェンソン・バトンだった。いつもなら真っ先にレンズを向けられ優勝者インタビューを受けるはずが、今日はそのまま放置され「1st」というナンバープレートだけが虚しさを助長させていた。

8号車も55号車も、シーズンで2勝を挙げた「最速」の存在だった。しかしシーズン全体で見れば「最強」ではなかった。チャンピオンになるためには、最速であるだけでなく、最強でもなければならぬ。今のARTAには、頂点に立つためのその最後の一步が足りていなかった。ツインリンクもてぎの戦いで、そのことをまざまざと見せつけられた。

野尻「来年は僕たちが勝てるように頑張りましょう」

チェッカーを受け100号車のタイトル獲得を知らされた野尻は、そう言って100号車が追い付いてくるのを待ち、並走して祝福の意を伝えた。伊沢としては、新たに加わったARTAをここまで押し上げたとは言え、昨年まで所属していたチームがタイトルを獲得しただけにより複雑な心境だ。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA



Gaumnitz  
Racing

Honda Racing

Honda  
FORMULA  
DREAM  
PROJECT

PIT-PRO

ams

HONDA



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA

# NISSAN

# LEXUS

## 'TORAY'

### Toray Carbon Magic

### SMO® MULAT

### EBBRO MINIATURE MODEL by MMP



### PORSCHE

### BRIDGESTONE



# ARTA

鈴木亜久里監督は言った。

「チャンピオンを獲れなかったのは悔しいけど、今年最後のレースに勝てたのは気持ちがいいね。

トップを譲ることもなく、強さを証明出来たレースだったと思う。

来年はチャンピオンを獲得出来るように頑張ります。今年もありがとうございました」



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**

速さは手に入れた1年だった。強さも手に入れたはずの1年だった。

しかし、その強さはまだまだ充分ではなかった。来年はさらに強さを増して戻って来なければならない。この1年で遂げた大きな成長を見れば、ARTAにそれができない理由など見当たらない。2019年は、最速かつ最強のARTAを見せてくれることだろう。



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

ARTA



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



AUTOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

**ARTA**



# ARTA



NITOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

私設応援団



NITOBACS  
RACING  
TEAM  
AGURI

# ARTA



全国 主要  
家電量販店・パソコン専門店・ネットショップ  
2,608 店の POS 実売統計  
集計対象期間：2017 年 1 月～12 月

# コムテック ドライブレコーダー

## 2017年度 販売数量 第1位



前方・車内 2カメラモデル  
HDR-951GW



前方・後方 2カメラモデル  
ZDR-015

COMTEC

<http://www.e-comtec.co.jp/>





株式会社オートバックスセブン

# ARTA

THE "BIG RACE" FOR SUZUKI AGURI STARTED IN 1998  
AS HIS VISION FOR THE FUTURE. OVER THE YEARS, IT HAS EVOLVED  
THROUGH THE TOUGHNESS AND WILL OF ARTA. IN THAT SPIRIT,  
ARTA IS RACING TO INSPIRE THE FUTURE OF MOTORSPORTS.



ARTA Project



ARTA DIGITAL You tube チャンネル

To Be continued next race...

**ZERO**  
BORDER  
Team ZEROBORDER

©2018 ZEROBORDER INC. All rights reserved. No reproduction or republication

Director and Photographer : Masakazu MIYATA

Text : Mineoki Yoneya

Design : Hiroaki KATAYAMA

Special Thanks : AUTOBACS SEVEN CO., LTD